

鎌倉市議会議員



地域政党 鎌倉

世代を超えて支えあえるまちへ

細川まなか

令和8年6月定例会号①

議会レポート 14

令和8年6月30日 発行

育児と
介護の
二刀流



公共ライドシェアの予算が可決！
バス・タクシー不足の解消なるか？

予算総額：約 4500 万

(うち国の補助金 2/3)

6月16日に開催された建設常任委員会にて、公共ライドシェアの実証実験のための補正予算が可決されました。

公共ライドシェアって何？

公共ライドシェアとは、バスやタクシーが足りない地域で、自治体などが関わって、地域の人が自家用車で住民を送迎する仕組みです。

何処でどうやって乗るの？

西鎌倉地区から乗車し市内まで、大船駅周辺(大船駅を除く)から乗車し市内までの利用を想定。アプリや電話で予め降車場所を伝えた上で、車両を呼んで乗る運用。

何故公共ライドシェアなの？

高齢者の移動が困難という声が多い中で、バス停などの乗降ポイントまで歩いて行かず、ドア to ドアで移動できるためと市は回答。

期間	令和8年11月～翌年1月
地域	西鎌倉、大船駅周辺
時間	日中、夜間
料金	タクシー料金の8～10割程度
ドライバー	地域住民、二種免許不要
車両	自家用車
運行台数	5台程度

何故、西鎌倉と大船？

鎌倉からも大船からもタクシーが呼びにくく、交通不便地域に指定されている西鎌倉地区の課題の解決と、終バスの早まり等による大船駅からの夜間のタクシー需要を補完するため。

地域交通の課題解決に向けて動き出したことは評価できるが、4500万円と予算は高額。補助金ありきの事業で、持続可能性が問われる。また、タクシーの8～10割という日常的に使うには高い料金設定で、買い物や通院のために使う地域の足となるか、実効性のある事業となるかがポイント。

アフタースクールの入室管理が見直されました！



これを受け、令和8年4月から、入室カードを忘れた児童も帰宅せずに入室できるようになりました！

ご意見・ご相談は LINE 又はメールにてお知らせください！

YouTube 毎週土曜 22 時から LIVE 配信中！

